

# カルボプラチン+ペメトレキセド+ペム ブロリズマブ療法を受けられる患者様へ

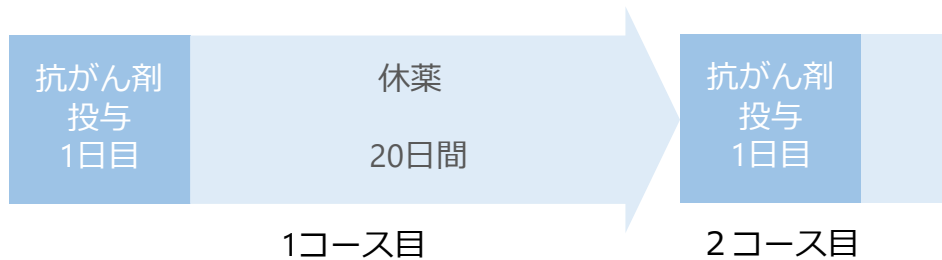
## 治療について

この療法は、カルボプラチンとペメトレキセド（商品名：アリムタ）とペムブロリズマブ（商品名：キイトルーダ）という違う作用の抗がん剤を組み合わせる治療です。

ペムブロリズマブは、がん細胞が自分を守るためにかけている免疫機能のブレーキをはずして、がん細胞への攻撃力を高める薬です。分子標的薬と呼ばれる薬の一つです。

## 投与スケジュール 今日（ / ）は サイクル 日目

1日目に2種類の抗がん剤を点滴で投与します。  
21日間を一区切り(1コース)とします。



ここに示したスケジュールは参考であり、患者さんの状態や副作用によって変更することがあります。

## 点滴で投与する薬について

ペムブロリズマブ  
( mg)

抗がん剤です。  
30分かけて投与します。

デキサメタゾン  
パロノセトロン

吐き気止めのお薬です。  
30分かけて投与します。

ペメトレキセド  
( mg)

抗がん剤です。  
10分かけて投与します。

生理食塩液

お薬の間隔をあけるために  
30分かけて投与します。

カルボプラチン  
( mg)

抗がん剤です。  
60分かけて投与します。

生理食塩液

お薬を洗い流します。  
5分かけて投与します。

## 副作用について

自覚できる副作用

アレルギー反応  
急性嘔吐

熱感・かゆみ・動悸などの症状が現れたら、すぐにお伝えください。

遅発性嘔吐  
食欲不振  
便秘 倦怠感

気持ちが悪い時には我慢せずに申し出てください。他にもお薬があります。

口内炎 下痢

口内炎・下痢・便秘にはお薬が有効です。遠慮せずに申し出てください。

脱毛  
味覚の変化

髪の毛は、治療終了後半年くらいで再び生えてきます。

皮膚障害

皮疹・発赤・かゆみなどの症状が現れたら、すぐにお伝えください。

甲状腺機能障害

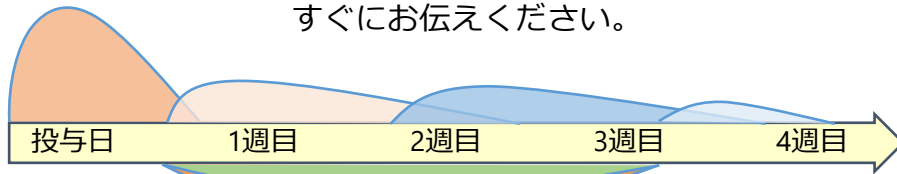
疲労感・体重の変化・脱毛・悪寒などの症状が現れることがあります。定期的に検査をします。

糖尿病

糖尿病を発症することがあります。

大腸炎

下痢・腹痛・血便などの症状が現れたら、すぐにお伝えください。



肝障害 腎障害

白血球減少  
血小板減少  
貧血

自覚できない副作用

その他にも気になる症状がありましたら、お気軽に医療スタッフまでご相談ください。

## 内服薬について

1日目	2日目	3日目

吐き気止めのお薬です。吐き気が無くても服用してください。

## 副作用を予防する薬について

ビタミンB12

9週ごとに筋肉注射をします。

葉酸 (商品名;パンピタン)

1日1回 服用します。